

上下流をつなぐ

# ダム水源地ネット

2005.8月号

8

●今月の水源地

赤谷湖(稲保ダム・群馬県新井村)  
魅力的で活気あふれる水源地域をめざして

●読者選「バカオ」

水源と蛇口の距離—見える水へ

●みんなでつなぐダム水源地

奥多摩 水と緑のふれあい館  
—小河内ダムの水源地PR活動— はか

●水源地つくりレポート

ふるさときやらばん公演と町の元氣

●地域活性化レポート

古代の里と現代の自然を一堂に  
—化女沼遊びのゾーン・古川市—





# 赤谷湖

(相俣ダム・群馬県新治村)

魅力的で活気あふれる水源地域をめざして



赤谷湖でのカヌー・釣り大会

赤谷湖でのカヌー・釣り大会  
赤谷湖では、毎年、カヌー大会や釣り大会が開催されています。また、湖の周囲には、自然豊かな風景が広がっており、観光客の増加が期待されています。

村にある相俣ダムは、日本最大の流域を持つ利根川の上流に、このダムの一つで、首都圏の水源地として知られています。昭和34年に完成以来、赤谷湖として親しまれているダムは、地元・赤谷湖を観光地として発展させる重要な観光資源となっています。湖の周囲には、自然豊かな風景が広がっており、観光客の増加が期待されています。

風景を散策したり、自然と共生の体験ができる、たくみの里や、各種フルーツ狩りができる新緑、上信越高原公園の美しい山々、旧三國街道を歩く旧道町があり、農村公園構想のもと、観光・農業・文化の連携による村づくりを進めています。



●今月の水源地

赤谷湖（湖尻ダム・群馬県新治村）

魅力的で活気あふれる水源地域をめざして ― 2

今月の行事 ― 4

●新治湖（1942）

水源と蛇口の距離―見える水へ ― 5

東京大学大学院 教授 吉澤 弘明

●あんなでつなぐダム水源地

奥多摩 水と緑のふれあい館 ― 8

―小・河内ダムの水源地PR活動―

さよの湖旗をめぐる球児たちの夏休み ― 8

●水源地つくりレポート

ふるさとさくらばん公演と町の元気 ― 10

高尾山 下流町会 教育委員会 吉澤 弘明

●環境教育レポート

古代の里と現代の自然を一堂に ― 12

～化女湖周辺のゾーン・古川町～

宮城 浩二 群馬県教育委員会 吉澤 弘明

●ワンポイント・秘宝―

「魚がのぼりやすい川づくりの手引き」について ― 14

トピックス ― 16

●今月の新報

緑地をのびる樹すき谷湖（群馬県）

●編集事務局：財団法人 ダム水源地環境整備センター ダム広域センター

所 在 地：〒302-0811 東京都千代田区外町2-14-2

TEL 03-5263-9031 FAX 03-5263-9035

http://www.wec.or.jp/

E-mail: info@wec.or.jp

編集 新治村 企画 新治村 杉木 隆司

●イベント：  
赤谷湖町大会  
カッパまつり、Eポイント交流会  
にはいる夏祭り、湖上花火大会  
たぐみの森まつり（11月）  
たぐみの森まつり（11月）  
●おみやげ：  
新治湖 湖上花火大会  
新治湖 湖上花火大会  
新治湖 湖上花火大会



たぐみの森



カッパ祭り



にはいる夏祭り 湖上花火大会

問い合わせ先

■新治村役場（8月まで）

TEL 0278-64-8111 FAX 0278-30-6033

http://www.tfn.hara.gunma.jp



## 今月の行事



【 】内は各行事の問い合わせ先です。

### 8月

#### 〔東 北〕

##### 18日(水)／宇宮川シンボジウム

場所＞秋田県高井市 本庄文化会館  
主催＞同実行委員会、烏海ダム調査事務所【☎0984-23-5120】  
内容＞シンボジウム：テーマ「水源地と地域づくり(仮)」、ミュージカル「リバーヘッド」

##### 21日(日)／おらにて夢にうせや節

場所＞宮城県七ヶ浜町 七ヶ浜ダム周辺  
主催＞七ヶ浜町観光協会【☎0224-37-2177】  
内容＞七ヶ浜ダム周辺の旧街道をわらじを履いて歩く、毎年恒例のイベント

#### 〔関 東〕

##### 27日(土)／黒部川水上スポーツ体験会

場所＞千葉県小見川町 黒部川野水地周辺  
主催＞小見川町水上スポーツ指導員協議会【☎0478-82-1000】  
内容＞さまざまな水上スポーツの体験会

#### 〔中 部〕

##### 21日(日)／太田川ダム見学会

場所＞静岡県森町 太田川ダム  
主催＞静岡県  
内容＞県民約30名を対象としたダム建設現場の見学会。現場見学などにより、ダムの役割や仕組みを知ってもらう【太田川ダム建設事務所☎0538-85-2025】

#### 〔近 畿〕

##### 28日(日)／親子探検「清流を知る」

場所＞福井県 九頭竜川資料館  
主催＞国土交通省 関西大環境研究所【☎0776-63-7300】  
内容＞九頭竜川の清流を訪れ、川の流れ立ちについて調べる。また、九頭竜ダムを見学し、施設の役割を知る

#### 〔九 州〕

##### 20日(土)／立野ダムアドベンチャースクール

場所＞熊本県長岡市 立野ダム建設現場  
主催＞立野ダム建設事務所【☎096-385-0207】  
内容＞白川と立野ダム事業への関心と理解を深めるため、事業説明や体験見学、コース体験などを行う。対象は小学校4～6年生とその保護者

#### 〔沖 縄〕

##### 28日(日)／濁地ダム 夏休み自然体験会

場所＞沖縄県豊後市 濁地ダム周辺  
主催＞同実行委員会  
内容＞カヌー体験、自然観察船による湖遊覧、王冠山探検、湖地川遊び、ダム施設見学など【豊後市 企画観光課☎0980-43-2200】

### 9月

#### 〔北海道〕

##### 上旬／北の森21運動 in 漁川ダム

場所＞恵庭市 漁川ダム周辺  
主催＞北の森21運動の会  
内容＞森遊びや森林活動、植林、ダムの施設見学を行う。問い合わせは、漁川ダム管理所【☎0123-73-7107】

#### 〔東 北〕

##### 10日(土)／環境文化財学習会

場所＞秋田県秋田市 森吉山ダム建設現場  
主催＞森吉山ダム工事事務所【☎0966-72-3025】  
内容＞森吉山ダム建設にともなう、発掘調査が進む小又川周辺の遺跡から4遺跡を取り上げ、実際の出土品を見ながら学習会を開催

##### 11日(日)／長瀬レガッタ

場所＞宮城県登米市 長瀬ダム湖  
主催＞登米市、近町【☎0220-32-2323】  
内容＞登米市内に居住または勤務する人を対象としたボート競技会

##### 23日(金・祝)／蟹湖湖一周ロードレース

場所＞岩手県盛岡市・雫石町 蟹湖湖畔  
主催＞つなぎ屋観光協会【☎019-689-2200】  
内容＞蟹湖の湖周ダム湖畔を走るロードレース

#### 〔関 東〕

##### 10日(土)／ふれあい館ヘブンアーティスト公演

場所＞東京都奥多摩町  
主催＞奥多摩 水と緑のふれあい館  
内容＞奥多摩湖(小川内ダム)に隣接する「奥多摩 水と緑のふれあい館」において、ヘブンアーティストを招いての公演。問い合わせは、東京都水道局 浄水部管理課【☎03-5328-6444】

##### 中旬／ハッポウダム 水のふるさと展

場所＞埼玉県 江ノ島湖周辺  
主催＞ハッポウダム工事事務所【☎0279-82-3477】ほか  
内容＞ハッポウダムの最大受益地である埼玉県内において、ダム建設事業や水源地域へ関心を持っていただく、実際に水源地域を訪れるきっかけとしてもらうためにPR活動を行う。主催は2地区に長野県観光協会、北軽井沢観光協会、川原湯温泉観光協会

#### 〔中 部〕

##### 9月中旬の土・日／若ヶ野湖遊覧水

場所＞三重県美杉町 若ヶ野ダム湖  
主催＞美杉町【☎059-272-8884】  
内容＞若ヶ野公園側の湖面に、湖中間の土・砂、高さ33mまでの噴水を上げる

#### 〔中 国〕

##### 23日(金・祝)／泉源湖音楽フェスタ2005

場所＞山口県下松市 末武川ダム(泉源湖)  
主催＞泉源湖音楽祭 実行委員会【☎0833-43-7523】  
内容＞毎年恒例の湖音楽祭。音楽祭の使者やパレードなどで楽しむ

#### 〔九 州〕

##### 23日(金・祝)／すきむらんどまつり

場所＞福岡県木村市 すきむらんど  
主催＞すきむらんど振興会【☎0984-88-2480】  
内容＞綾川ダムに隣接する、すきむらんどを拠点に、近郊の湖沼での釣り大会が実施。また地域の特産品の販売もある



最近、都区部から郊外に引っ越した著者は、蛇口の水をおいしく感じた。什葉料であろうか、引っ越しをするというライフラインの中でも水道のことがまず気になる。電気やガスとは違い、水道水はその土地を感じる一つの術であるし、あるべきだと思っている。

現在の東京は、その水源のほとんどを遠く離れた利根川・荒川水系に依存しており、昭和30年代まで主たる水源の多くであった地元の水の多摩川水系からは、20パーセント足らずの取水量になっている。また、浄水場の水の浄化や配水管のネットワーク化が進み、分たが口にする飲料水がいったいどの水であるかを認識することが困難な状況にある。その意味でも、自分たちの水道水が見えにくくなってきている。蛇口の水の元をたどり、数回キリも離れた山奥のダムで貯められた後、下流の取水点から導水され浄水場での水道水となることを認識して記憶することは可能であろう。しかしながら、自然の恵みとして感謝の念を持つには疎遠すぎる。

## 水源と蛇口の距離一見える水へ



古米 弘明

東京大学大学院 教授



Sagami River (Sagami River)

平成16年6月に策定された「水道ビジョン」の中に示された施策群の一つに、「安心・快適な給水の確保」がある。安全であるだけでなく、「安心」で快適な水道水の供給を目標とする方向性が示された。「安心」の寄り添うことなる基本には、水源が意識の範囲にあることや、水利関係者である住民が水源に思いをはせていることも重要な要素ではなかろうか。もちろん、すべての国民が水源を地元だけで確保することは困難であると考え、物理的な距離が近い場合でも、工夫したいで感謝の念を抱くことは可能ではなかろうか。

インターネットやさまざまな手段で自分たちの水を認識できる機会を持つことや、食品に適用されているようなトレーサビリティ（生産履歴情報）を水道水にも想定して、水源や水質について情報提供することも面白いだろう。多くの住民が水の正しい立ちを知ることで、本来の水源保全や水質管理につながるのではと考えている。著者は、時折蛇口の水を飲むようになったが、水道水の距離近くを支えてくれている地元の地下水を大事にしたいと思っている。



## 奥多摩 水と緑のふれあい館

### — 小河内ダムの水源地PR活動 —

はじめに

「奥多摩 水と緑のふれあい館」は、東京都の水源地である小河内ダムを訪れる方々に、「東京水道水源林のすばらしさや奥多摩の歴史を知っていただきたい」との思いから、東京近代水道100周年と小河内ダム竣工40周年の記念事業として、平成30年11月に開館しました。



「水と緑のふれあい館」

人と自然 都市と水源地の

よりよい関係を考える

水はどこからやってくるのか、川はどこから始まるのか、緑のダムって何のこと、奥多摩ってどんなところ、

そんな疑問にお答えするのが「奥多摩 水と緑のふれあい館」です。館内では子どもから大人まで楽しめる6つの展示スペースによって水に関するさまざまな質問にお答えしています。

#### ① ふれあい館の入り口

ふれあい館のエンタランスでは、床面いっぱい奥多摩マップと、吹き抜けに広がる水をモチーフとしたオブジェが皆さんを出迎えます。毎年数々のイベントがここで行われます。

#### ② 水のふれあい館と歴史・文化の窓

奥多摩町に伝わる数々の郷土芸能や歴史を紹介します。車人形、獅子舞など現在に伝承されているものから、田舎歌謡、写し絵など、残念ながら伝承が途絶えてしまったものまで幅広く展示しています。

#### ③ 水が生まれる緑のダムの歴史

奥多摩に棲む魚、虫、鳥によって水が生まれる場所を体験します。入ってまず目にするのが魚眼レンズから見た映像で、普段、魚がどういう視点で物を見ているのか体感できるようなっています。続いて、虫、鳥になった視点で奥多摩の自然がどのように見えるのかを展示しています。



床面に広がる奥多摩マップ



水をモチーフとしたオブジェ

#### ④ 水が生まれる小河内ダムと自然

柱に埋め込まれた各ディスプレイからは、四季折々の水道水源林の自然について知ることができます。ダムのお勉強シアターでは、小河内ダムの果たす役割や、ダムに貯められた水がどのように使われているのか、また緑のダムとも呼べる水道水源林の役割について知ることができます。

#### ④水が動く裏面壁3Dシアター

3Dシアター専用の照明をかけて、奥多摩の自然を立体映像で体験することが出来ます。

約15分間の映像の中でお客さまに安全でおいしい水をお届けするための水道水製法の機能や、そこに棲む生き物などについて紹介しています。まるで森の中に自分が実際にいるようになり、フルな体験をすることが出来ます。

#### ⑤水がながるはるかなる水の壁

「水と緑のふれあい館」のマスコップと「くりん」と一緒に水の流を体験し、水に関する問題を考えます。雨に



水の流を説明する模型設置

なって落ちてきた水が再び雨になるまでの「水の循環」を、模型を使って説明しています。また、模型の正面には、ディスプレイを通して「水と緑」に関するさまざまなクイズに挑戦するコーナーがあります。

このほか、館内にあるパノラマショップ「ブナの森」では、わさび漬は、そばなどの奥多摩の名産品を取り揃えています。

#### 観しみのあるダムを周遊して

普段何気なく使っている水道水。そんな水道水の「源」である奥多摩の水と緑を実際に肌で感じていただくため、小川内ダム周辺には「水と緑のふれあい館」のほか、「ふれあいのみち」や「いのみち」(期間限定で一部閉鎖)、「ダム展望塔」を開設し、ダム周辺の一体的な整備を進めています。

また、ふれあい館では、ミニコンサートやヘブンアーティスト(東京都公認の大道芸)の公演、ダム写真展、奥多摩に伝わる獅子舞踊り等、年間を通して多くのイベントを企画し、毎年大勢のお客さまをお迎えしています。

#### おわりに

本年度で設立8年目を迎えた「奥多摩水と緑のふれあい館」は、都内西区や都下の市町村を含めた下流・都市部、周



館内ではイベントも行われます

辺自治体からの見学者、訪問者など、昨年度は約26万人もの多くの方々を訪れていただき、この4月でその累計は170万人に達しました。

さらに今年4月、財団法人ダム水源地環境整備センターが認定した「ダム湖百選」に選ばれたことも、PRのひとつとして役立てていきたいと考えています。

これからも、都民部の皆さんに、水の源、上流部の自然やダムの果たす役割などについて知っていただくために、ふれあい館の内容を充実させていきますので、自然と親しみながら、命の水について考えることが出来る小川内貯水池(小川内ダム)へ、ぜひお出掛けください。

【奥多摩水と緑のふれあい館 運営管理課 内藤 航】



新木ダム  
佐賀県

## さよの湖旗をめぐる球児たちの夏休み

### 新木ダムの概要

新木ダムは、佐賀県の北西部、唐津市新木町にあり、唐津湾に注ぐ一級河川松浦川の中流部に合流する支川・新木川の上流に位置します。背後には、県内有数の天台山を控え、森林は地域の水の源となり、多くの人々に恩恵を与えています。

役割としては、流域の災害防止と都市用水やエネルギー需要に対応するた



ダム上流の風景

め、洪水調節・不特定用水・水道用

水・工業用水の供給および発電。揚水式発電を目的として昭和62年に完成した、堤高117mの多目的重力式コンクリートダムです。同ダムの最大の特徴は、揚水式発電の下池となっていることで、上池の天山ダム（九州電力）と連携した発電が行われています。

本ダムは、県内、全国的な電力需要のピーク時に、上池に貯められた水を下池に落とすことで、電力消費の少ない夜間に、下池に貯まった水を上池に汲み上げ、再び昼間の需要に備える役割を担っています。

### 唐津市新木町の紹介

同ダムのある新木町は、平成17年1月1日、唐津市と大井町が合併して、唐津市となり、流域のほとんどが一つの自治体となったことにより、地域間の交流がより密になることが期待されています。

新木ダムの周辺では毎年多くのイベントが開催され、特に夏の時期には、流域の小中学生を対象としたダム見学や手作り木工などを通して水について学ぶ「1日体験学習」、ダム



新木ダム周辺の夏休みイベント

水没者等交流の式典である「湖水祭」、地元が主催し地元特産の「アユ・ヤマメを味わうことのできる」「きゅうりぎ川あゆみつり」など多彩な催しが開催され、多くの人が訪れます。

### 少年野球大会

その中でも、新木ダムさよの湖旗争奪少年軟式野球大会は、新木ダムが



完成した翌年の昭和63年から毎年開催され、本年度で第18回目を数える。恒例の夏のイベントとなっている。大会には、水源地域はもとより受益地から毎年約30チームが参加し、開催時に選手の家を兼ねる数多くの人が訪れます。メイン会場となる、蔵木ダム湖上流の原石山跡地を整備した蔵木ダムスポーツ公園内野球場で、3日間の熱戦が繰り広げられ、子どもたちの歓声が緑の山あいにはびこります。

この野球大会は、森と湖に親しむ仲間の一環として、子どもたちが野球を通じて、水源地域の森と湖に親しむことによって、森林やダム・河川等の



光景の優勝チーム

重要性について関心を理解を深め、さらには、スポーツを通して豊かな心と健全な身体を鍛錬を行い、人間形成に役立てることを目的としています。また、水源地域を囲むことにより、水源地域と受益地地域との交流を深め、地域が一体となった流域社会の創造や、水源地域の重要性を感得し、上下流の交流の場にもなっています。

本年度の参加者は、29チーム約600人で、水源地域はもとより下流や周辺の受益地地区まで、幅広い地域からの参加があり、晴天の中、子どもたちの熱戦が繰り広げられました。

また、水源地域の自然を育み、水源を守る取り組みとして、野球大会に参加した少年たちによるコイの放流や記念樹も毎年実施され、子どもたちの成長とあわせ樹木も年々大きく育っています。

このほかにも、蔵木町では、秋には「風のよるさとまつり」や、天山ダム（下ダム）から蔵木ダム（下ダム）までを駆け下りる、駅伝大会なども開催され、風と水源の町としてダムと地元が共存しています。



子どもたちによる記念植樹

#### これからの活動

蔵木ダムでは水源地域ビジョンの活動も地域と一体となって、積極的に実施されています。流域各地のメンバーで構成される推進協議会を中心に、地域の人々が元気になることを目標に活動し、情報発信することによって、少しずつ流域全体の活動へと広がりはじめています。

この秋には、蔵木ダム遊歩道周辺に上下流の市民が集まり、水源地域の森林を守るための植栽活動を行う、第2回「さとの湖遊歩道里山プロムナードづくり」を実施するべく、より一層の上下流交流の場として活用していく予定です。

【調査・調査】 大井町 芳賀 蔵木ダム推進協議会 森 橋村 和範

# ふるむとむやうはんと公演と町の天気

福島県 下郷町役場 教育委員会 佐藤 史紀

## 下郷町について

私たちの住む下郷町は、福島県の南東部に位置し、阿賀川とその支流を中心に集落が点在している町です。重要伝統的建造物群保存地区に選定された大内宿は、江戸時代の面影を今に残す「劇場」として全国的に有名で、人口7千弱の町に、年間約30万人の観光客が訪ねています。また、町には昭和62年に建設された大岡ダムがあります。



## 活動の経緯

私たちは昭和63年以来、町内の若者を中心として、3年に1度のペースで、よるさときやらはんと下郷町公演の開催に携わってきました。最初のきっかけは、当時青年会の仲間数人が、農村の結婚舞をテーマとした「劇団よるさときやらはん」のミュージカルを観に行ったことです。自分たちにとって、あまりにも身近な結婚



大内宿（重要伝統的建造物群保存地区）

舞の開催に携わってきました。最初のきっかけは、当時青年会の仲間数人が、農村の結婚舞をテーマとした「劇団よるさときやらはん」のミュージカルを観に行ったことです。自分たちにとって、あまりにも身近な結婚

舞というテーマ、そして生の演劇そのものの素晴らしさを、ぜひ自分の町の人々に知ってもらいたいことなどを発端として、実行委員会を結成しました。3年ごとに開催してきた公演も今回で6回目となりました。初回公演では中高生だった世代が、今回の主力メンバーとなっています。

今回の演目は「天狗のかくれ里」という題名で、主に自然環境問題をテーマとし、子どもにも理解しやすい構成となっています。

これら文化芸術の振興、自然環境保全の啓発、人材の育成を目的としたわれわれの活動をさらに充実していくため、「平成16年度ダム水源地域サポーター事業（単年度）」の申請をしたところ、幸運にも認定団体となることができました。

## 活動の概要

今回の実行委員は約30名、劇団との調整やPR活動、チケットの取り扱いなどを行いました。公演の開催を知らせるため、チラシや看板を作成したり、広報車（実行委員の軽トラ）で町内を回ったりしました。看板はペンで自作したもので、携いた人によってそれぞれの作風が出ています。看板を配置している、町の人によく声をかけられることがありました。「いつやるんだ」「今度のはどんな内容だ」とか、かなり認知度は高いという印象を受けました。このPR活動開始前は、この町が選挙戦地になかなかなりません。



劇団との練習合わせ



小学生のリハーサル



公演の模様

今回は劇団から、冒頭のシーンで地元の小学生に出演して欲しいとの依頼がありました。学校の協力、保護者の同意をもらい出演する子どもたちが決定しました。いよいよ本番当日、朝の軽トラで劇団を近郊大場まで先導。役者さんと実行委員の朝あわせが始まりました。舞台の準備は各自で行いました。劇団の方は、ほとんど役者兼大道具係です。素人である実行委員にも、遠慮なく専門知識を交えた指示が飛びます。みるみるうちに手作り感あふれる舞台が出来上がりました。

役者さんと小学生のリハーサルの間、地元の子供と保護者さんのお母さん方が、食事を用意してくれました。地元の子は料理で全員そろって食事まで、タタカラの水香に癒えます。会場には長蛇の列。補助席をすべて出した600席が観客で埋まりました。

実行委員長のあいさつの後開演。冒頭の小学生の跳び箱のシーンでは、振り付けもセリフも完璧の児童に大拍手が沸きました。天狗の里に迷い込んだ少年が、天狗の修行を受けて成長していくストーリーは、熱い拍手のうちに幕を閉じました。最後は、会場出口で役者さんと実行委員が一列に並び、会場を出る一人ひとりと握手をして無事に公演を終了することができました。

## 活動を通して

このようにさくらばら下郷町公益事業は、単に劇団を招いて演劇を観劇するだけのではない、と実行委員は考えています。実行委員と町の人のP・R活動を通してふれあい、演劇への参加と観し、そして役者さんに負けないお客さんのエネルギーは素晴らしいものがあります。少子高齢化が進む下郷町ですが、少しでも町の元気が出ればとの思いからこの事業を開始しました。さまざまな事情により3年に1度の開催となっていますが、劇団の方との交流や、他町村公演も応援しています。観光で下郷町を訪れる方はたくさんいらっしゃると思いますが、そこからさらに交流が深まれば、町の活性化にもつながると思います。

このたびはタタカラ地域サポーター事業に採択していただきました、ありがとうございます。これからも、この事業を発展させ、地域のために少しでも役立てればと考えています。

# 古代の里と現代の自然を一堂に ～化女沼遊びのゾーン・ 古川市～



宮城県 古川市 産業振興工務課長

## 澁谷 衛

### 古川市の概要

古川市は人口7万4千人、面積134㎢で、仙台市の北約40㎞、宮城県北部のほぼ中央に位置しています。市域中央部を江古川・南端を鴨瀬川が西から東に流れ、北部に丘陵地帯があるほかは大部分が大崎平野で占められています。年平均気温は11℃まで、とても暮らしやすい町です。東北新幹線と陸羽東線、そして、東北縦貫自動車道および国道が、東西南北に走る交通の要衝となっています。

また、「ササニシキ」・「ひとめぼれ」等は本市が発祥の地であり、おいしい米の産地でもあります。水稲の作付面積は4390haで、「ひとめぼれ」が81%、「ササニシキ」が14%を占めています。このほか、米を材料とする産業も活気があり、あられや日本酒も特産品です。米の転作による豆の栽培も盛んで、「ずんだ餅」は物産展を興くとすべく売り切れる名産品の一つです。

400年の歴史を誇る古川八白屋市は、市内はもとより、近隣からも新鮮な野菜や漬物などを買い求める人が大勢訪れています。また、市街地再開発事業により、コイの泳ぐ「鶴の川」のほとりにあった酒蔵が改修され、地場産物を使用した飲食店街「醸造」として本年6月オープンしました。また、シネマコンプレックスを中心とした



化女沼

復興工務課、リオーネよるかかわも、来年3月開館する予定です。この2施設が完成することにより市街地は数年前と様相が変わり、町には気配が異なることでしょう。

### 化女沼ダムについて

田沢川（流域面積77.2㎢、流路延長約30.6㎞）は、その源を岩手山町十文字地区内に發し、澁谷町において江古川に合流する一級河川です。川幅が狭い上、下流部で氾濫地帯を流れているため、カスリン台風（昭和22年9月、アイオン台風）同23年9月の上陸に伴う洪水により大きな被害が

発生したことから、昭和33年に河川改修工事を始めました。しかし、その後も氾濫を繰り返したため、根本的な対策として同43年度に中小河川改修事業田尻川改良工事に取組みました。ハスの花が咲き、フナ等が生息する化女沼にダムと放水路を造り、下流部では同堀を流して灌漑を営もうとするものです。同63年12月に本体工事が始まり、総事業費153億円（平成7年10月に化女沼ダム（堤高24m、堤長260m）とポンプフィルダム）は竣工しました。

### 吉川市の観光について

市には4月の「よるかわまつり」、5月



夜の吉川川にまつり

の「吉川よじまつり」など、花の観賞をメインとした祭りがあります。そして、例年8月2日には、約5000発の花火が夜空に大輪の花を咲かせる「花火大会」、引き続き3日・4日は「吉川まつり」が行われ、市内中心部に七夕飾りが飾られ、その下を太鼓や踊りなどが繰り歩きます。また、本年から10月第4土・日に開催される「吉かわ里の秋まつり」では、勇壮な大行列が行われます。

化女沼周辺は白鳥が飛来し、水生植物の群生がある自然環境豊かな景勝地です。南側の「化女沼・古代の里」には、堅穴式住居や高床式府庫などの遺跡、子もたらが



化女沼

楽しく遊ぶことができると評判です。そして、宇

美史シリーズには大勢の人でにぎわう芝生広場があります。その東側には本市の花である「あやめ園」があり、「希望」「信頼」「勇気」を表す3枚の花弁が花開く、優美な表情を楽しむことができます。2000年には、化女沼を周遊する道路（前通化女沼西線・東線）周辺に2000本のサクラの苗木を植林しました。綺麗な花が咲くようになればサクラの名所となりに違いありません。また、彼岸花（彼岸花）が群生している羽黒山公園が近くにあり、シリーズになると秋の訪れを告げるように染める約10万本の彼岸花の観賞に、県内外から大勢の方々が訪れています。

### 最後に

本年は市制施行55周年の記念の年でもあります。本年3月31日に鶴子町・岩田山町・田尻町・三本木町・松山町・そして鹿島町・6町と合併して「大崎町」となり、東西に長い新市が誕生します。新市・大崎市の魅力が増えたといわれるよう、今後これらの資源を有効活用した取り組みを地域の誇りともなう進めていきたいと考えています。



## 手引きの作成

手引きの作成に当たっては、これまでのモデル河川や関連する他の取り組みから得られた、以下の観点を特に重視しました。

- ① 河川環境や魚類の生態は時間的・空間的に多種であり、専門家の助言を得ながら、個々の河川の特徴やその川に生息する魚類等の生活史等を十分に踏まえることが重要
- ② 各方面への説明責任を果たしつつ、地域関係者との意見形成を図ることが不可欠
- ③ 魚道の設計自体には必ずしも確立されたものではなく、創意工夫が重要
- ④ 魚道の掘削・陸下環境の改善だけでなく、産卵場や隠れ場、水量・水質の確保が必要
- ⑤ 魚類以外の生物の移動への配慮も必要
- ⑥ 事前調査や事後評価に当たっては、個々の施設の面から、流域全体の面から、両方から検討することが必要
- ⑦ 段階的な整備、適応的整備が重要
- ⑧ 事前調査ならびに効果予測が重要

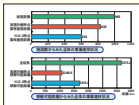


図-2 モデル事業の進捗状況

そのため、各現場で実際に実施されると考えられる事前調査から、事業実施、管理に至る各段階において、実施・検討すべき事項をできるだけ分かりやすく記述すること、具体的なモデル河川で取り組んだ事例を参考資料として併記しました。

また、掘削・陸下環境の改善のため、必要となる河川環境を整備するに当たっての参考としていたけるよう、

- 産卵ダムからの放流による流量の回復
- 農業用水路や田圃との連続性の回復
- 魚類等の迷入防止対策

等の実施事例を盛り込むとともに、モデル河川を中心とした全国の河川に於ける魚道について、特徴と留意すべき点等を紹介しています。

## おわりに

魚のぼりやすい川づくりを実現し、魚を取り巻く生態系を再生していくことは、それぞれの河川が有している本来の姿を取り戻すことにつながります。このことは河川計画等の策定においても基本的な姿勢であり、本書を参考にしたい方々ながら、全国各地で魚のぼりやすい川づくりが推進されることを期待しています。

また、本書は今後の技術の進展や知見の集積とともに、適宜改訂・修正することとします。

TOPICS



# 「ダム湖百選」ニュース

先般認定された、「ダム湖百選」につきましては、それぞれのダム湖推薦市町村長に対し、認定証および認定プレート等を贈呈いたしました。これらのうち多くのダム湖については、現地に認定プレートを設置していただきました。

これまで、当センターに設置等についての情報をご提供いただいたダム湖の中から、今回4つのダム湖の設置風景をお届けします。

これからプレートを設置されるダム湖におかれても、これらの写真をご参考に地元のシンボルとしてよりよい形で設置していただければと思います。

なお、設置等が終了しましたら、当ダム広報センター「ダム湖百選担当」まで、設置写真や設置のためのイベント風景写真、新聞記事等をお寄せいただければ幸いです。（ダム広報センター）



山口県山口市  
月山湖（東河江ダム）



山口県水上町  
奥利根湖（奥水沢ダム）



広島県安芸太田町  
龍崎湖（蓮井ダム）

広島県安芸太田町の龍崎湖（蓮井ダム）で7月21日、「ダム湖百選」のプレート設置式が行われました。プレートの設置式は先々本津湖 安芸太田町長の開式の辞で始まり、続いて国土交通省中国地方整備局の堀之内氏と、河川部長が「蓮井ダムは当初より最新の技術と環境保全へのアイデアを結集して、自然と調和する高品位のダムづくりに努めてきた。この高い評価に恥じることをない蓮井ダム、龍崎湖であり続けるよう努力し、地域に貢献していきたい」と思いをこめてプレート設置が行われました。（岡）



山口県水上町  
ならまた湖（曾良保ダム）

- 「トピックス」にふさわしいタイムリーな情報をお知らせしております。
- 掲載写真の投稿を募っています。
- 記事記事についての問い合わせは「ダム広報センター」まで
- FAX 03-3283-9085 http://www.wec.or.jp/ E-mail:koho@wec.or.jp

編集X

今月号掲載を待つてくる全国のダム水源地も、すでにその数は140を超えました。今月号からは、先般認定された「ダム湖百選」認定ダム湖及び推薦をいただいた市町村を紹介していくことになりました。8月号は第1回目として、群馬県新治町の赤倉湖（曾良保ダム）の紹介です。

今これまでに表紙に登場しなかったダム湖、市町村から報告して紹介していく予定です。表紙裏面を含め少ないスペースではありますが、ご自身の写真やメッセージなどをお寄せいただき、認定ダム湖・水源地にしての皆さまを、この機会に全国に向けて紹介、PRする一環としてご活用ください。